

患者さんへ

「大腸癌に対するロボット支援手術の現況」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません

1 研究の対象	2022年1月より2023年12月までに湘南鎌倉総合病院外科で手術を受けた大腸癌患者さん
2 研究目的・方法	<p>本邦におけるロボット大腸手術は2018年4月から直腸癌、2022年4月には結腸癌が保険収載となり、急速に多くの施設で行われています。国内の一部の大学病院やがん専門施設から手術手技上の注意点・工夫、治療成績、若手教育への問題点などが発表されていますが、未だ新しい治療法です。</p> <p>当院は2023年3月から大腸癌にロボット支援手術を導入しました。当院は地域に密着した医療機関であり緊急手術も非常に多く、専門疾患のみを対象とする施設ではありません。また研修指定施設のため初期・後期研修医も非常に多く勤務しており一般病院でありながら臨床教育を担う施設でもあります。当院でのロボット支援手術の安全な導入やその意義、教育は非常に大事な問題であり、現時点での治療成績の検討は今後の診療展望に重要です。そのため、この研究では上記期間で治療を受けていただいた患者さんの臨床データ、治療方法、治療成績を解析し、その評価を行います。</p> <p>研究の期間：施設院長承認後(2024年2月予定)～2024年6月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既に研究結果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、検査所見、病歴情報、原疾患、術前治療有無、周術期成績、合併症、再発の有無、再発治療内容等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 藤井正一 湘南鎌倉総合病院 外科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717</p>